

産婦人科研修

◇ 研修目標および特徴

産婦人科領域の基礎的診療知識を身につける

◇ 研修内容（方略）

- 1) 正常妊娠
妊娠の診断、週数と予定日の計算、尿中妊娠反応の実施、つわり、胎動の出現時期、妊娠中の使用可能な薬剤についての知識
- 2) 正常妊婦の診察
妊婦の定期健診、子宮底長の測定、超音波検査により胎児計測を行い、胎児の評価が出来る。
- 3) 分娩時、産褥期の管理
分娩経過の判断、妊娠中毒症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤の診断、陣痛・胎児心拍の計測及び異常の診断、帝王切開術の適応、児娩出の介助、臍帯・胎盤の処置、会陰切開と縫合、軟産道損傷の有無の診断、子宮収縮状態の把握、Apgar score
- 4) 新生児
新生児の日常的ケアができる、スクリーニング検査
- 5) 婦人科診察
子宮の大きさ、子宮筋腫の診断ができ、子宮頸部、膣部の細胞診、超音波検査により子宮、卵巣の異常を判断できること
- 6) 婦人科疾患の取り扱い
緊急疾患(子宮外妊娠、卵巣出血、骨盤内炎症疾患)の診断
更年期障害の知識
悪性腫瘍の治療指針の知識
- 7) 不妊症の知識

◇ 指導責任者

志岐 保彦

週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	病棟	病棟
火	手術	手術
水	病棟 回診 手術	症例検討会 子宮卵管造影 手術
木	手術	手術
金	手術	手術

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する